

JLVC2013

JAPANESE

LANGUAGE

VARIATION AND

CHANGE CONFERENCE

▶▶ 国立国語研究所 時空間変異研究系 合同研究発表会

日時： 2013年3月20日(水・祝) 9:55-18:15

会場： 国立国語研究所 講堂（東京都立川市緑町10-2）

プログラム

■ 招待講演： 10:00 - 11:00

Dennis R. Preston "Old and New Ways in Perceptual Dialectology"

■ ポスター発表： 11:00 - 12:30

- ・ 峪口有香子（徳島大学大学院生） GIS による言語地理学的研究—瀬戸内海沿岸における方言調査を事例に—
- ・ ウナル・ビラル（一橋大学大学院生） 日本在住トルコ人児童の日本語使用状況—コード切り替えを中心に—
- ・ 村田真実（徳島大学大学院生）林琳（徳島大学大学院生）岸江信介（徳島大学）
小豆島方言アクセントの現状
- ・ 森 勇太（日本学術振興会特別研究員PD） 近畿方言における命令表現の地域差
- ・ 高山林太郎（東京大学大学院生） 系列別語彙を用いたアクセント調査—沖永良部島国頭方言を例に—
- ・ 野間純平（大阪大学大学院生） 近畿方言のネン・テンの成立過程について—昔話資料を手がかりに—
- ・ 酒井雅史（大阪大学大学院生） ロールプレイ会話からみる敬語運用の地域差
- ・ 一色舞子（北海道大学大学院生） 中古日本語の「一おく」における語構成分析
- ・ 佐藤亜実（東北大学大学院生） 「ぞこらへん（指示代名詞+へん）」の使用の拡大について
- ・ 平塚雄亮（京都光華女子大学非常勤講師） 福岡市方言の接続詞ダケン
- ・ 中澤光平（東京大学大学院生） 淡路方言の地域差と成立過程

■ 口頭発表： 13:15 - 18:15

- ・ 木部暢子（国立国語研究所） 危機方言調査から見えてくるもの
- ・ 朝日祥之（国立国語研究所） 言語変容の類型化に向けて—国内外における調査から—
- ・ 井上文子（国立国語研究所） 方言談話の地域差と世代差—ロールプレイ会話から—
- ・ 大西拓一郎（国立国語研究所） 全国方言にみる分布の経年比較
- ・ 熊谷康雄（国立国語研究所） 『日本言語地図』のデータベース化と計量的分析
- ・ 金愛蘭（早稲田大学） 文法・文章機能からみた外来語の基本語化
- ・ 青木博史（九州大学） 言語変化と文法史研究

※18:30より国立国語研究所の2階フロアにて懇親会を予定しております。こちらにも是非ご参加下さい。